

箕面市立萱野小学校が「フューチャースクール推進事業」のモデル校として選ばれました

平成 22 年（2010 年）8 月 10 日

箕面市立萱野小学校は、総務省のフューチャースクール推進事業のモデル校として選ばれました（近畿では本校のみ。全国で 10 校が参加します）。

この事業は教育分野で全児童 1 人 1 台のタブレットコンピュータや全教室の電子黒板などの ICT（情報通信技術）の利活用を促進し、ICT を使って児童が学び合い教え合う「協働教育」を推進するための実証研究です。

1 フューチャースクール推進事業

教育分野で ICT（情報通信技術）を利活用し、児童がお互いに学び合い教え合う「協働教育」を推進するため、公立小学校を対象に、タブレットコンピュータ（全児童一人一台）や電子黒板（全普通教室 1 台）、校内無線 LAN の整備、協働教育プラットフォーム（教育クラウド）などの ICT 環境を構築し、「協働教育」実現のために必要な情報通信技術面を中心とした課題を分析するものです。

2 実施校

箕面市立萱野小学校（近畿では本校のみ。全国で 10 校が参加します。）

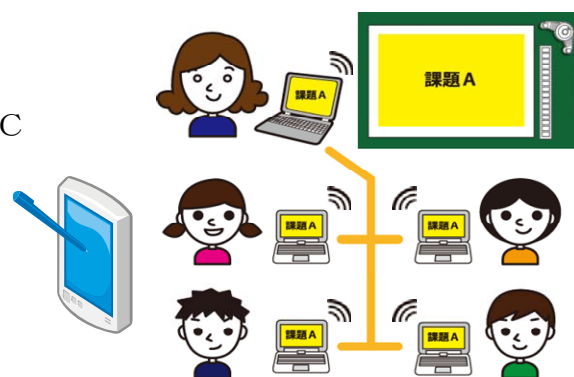
3 実証校に整備される環境の概要（10 月予定）

【ハード面】

- ・全児童・全学級担任に 1 人 1 台のタブレット PC
- ・全普通教室に電子黒板設置
- ・専任の ICT 支援員の配置
- ・校舎内外で無線 LAN

【ソフト面】

- ・無線 LAN 環境でも使える授業支援ソフト
- ・共同学習、共同書き込みができるソフトと電子教材



4 今後の予定

萱野小学校では、授業での ICT 活用方法や、情報のデジタル化などの活用について、児童の学習に最大限メリットが発揮できるよう学校の教育目標や研究テーマに基づいて実践・検証していく予定です。

問い合わせ先

箕面市教育センター

電話 072-727-5112

ファクス 072-727-4089